

ユニバーサルデザイン推進計画(第2次) 進捗状況報告書《成果指標》											
基本理念	施策の方向		成果指標	現状値		実績値		累計値	所管		計画書 ページ
				現状値 (2022年度)	目標値 (2028年度)	2023年度	2024年度		部	課	
ハード	1	利用しやすい安全で快適な みち・公園づくり	バリアフリー基本構想で設定した歩道の整備率 [出典]中野区資料	55.5%	66.4%	32.2%	35.5%	—	都市基盤部	道路建設課	15
	2	円滑に移動できる 交通環境づくり	区内移動の快適性に関する満足度 [出典]中野区 区民意識・実態調査	61.2%	68.0%	63.1%	59.8%	—	都市基盤部	交通政策課	15
	3	利用しやすい配慮された 区有施設づくり	整備・改修した施設の新しい点検の実施件数(令和6年度からの累計値) [出典]中野区資料	—	10件	—	1件	1件	企画部	企画課	15
	4	利用しやすい配慮された 民間施設・住宅づくり	バリアフリー基本構想で設定した特定事業の整備率 [出典]中野区資料	63.0%	78.7%	63.0%	63.0%	—	都市基盤部	都市計画課	15
ソフト	5	利用しやすいわかりやすい 区のサービスづくり	行政手続における電子申請の利用割合 [出典]中野区資料	73.5%	85.0%	74.0%	71.5%	—	総務部	デジタル政策課	23
	6	参加しやすい地域の場づくり	区民活動センター集会所利用率(15施設の平均) [出典]中野区資料	40.9%	55.0%	47.2%	48.8%	—	地域支えあい推進部	地域活動推進課	23
	7	地域における利用しやすい サービス・商品づくり	ユニバーサルデザイン関連創業等支援セミナー参加者数(令和6年度からの累計値) [出典]中野区資料	—	200人	—	9	9	区民部	産業振興課	23
	8	わかりやすい情報を 簡単に得られる環境づくり	情報発信のユニバーサルデザインガイドラインに基づく見直し・改善数(令和6年度からの累計値) [出典]中野区資料	682件 (H31年度からR4年度までの累計値)	1000件	—	633件	633件	企画部	広聴・広報課	23
ハート	9	違いを超えて尊重しあう心 を育む教育環境づくり	学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う児童・生徒の割合 [出展]全国学力・学習状況調査	小6:69.9% 中3:79.9%	小6:75.0% 中3:85.0%	小6:72.1% 中3:73.5%	小6:80.3% 中3:86.0%	—	教育委員会事務局	指導室	29
	10	ユニバーサルデザイン推進の担い手づくり	ユニバーサルデザインサポーター養成者及び区民向け障害平等研修参加者の延べ人数(令和6年度からの累計値) [出典]中野区資料	153人 (H31年度からR4年度までのユニバーサル デザインサポーター 養成者の累計値)	500人	—	59	69	企画部	企画課	29
						—	10		健康福祉部	障害福祉課	
	11	ユニバーサルデザインの考え方を広げるしくみづくり	ユニバーサルデザインの認知度 [出典]中野区 区民意識・実態調査	60.7%	75.0%	65.8%	73.9%	—	企画部	企画課	29
	12	個性や多様性を大切に する意識づくり	障害のある人に対する理解が「ある程度進んでいる」、「十分に進んでいる」と回答した人の割合 [出典]障害福祉サービス意向調査	31.9%	41.9%	—	—	—	健康福祉部	障害福祉課	29

ユニバーサルデザイン推進計画(第2次) 進捗状況報告書《主な取組》								
基本 理念	施策 の 方 向	主な取組	2024年度の取組実績		所管		計画書 ページ	
			進捗状況	取組状況	部	課		
ハード	1	利用しやすい安全で快適なまち・公園づくり						
	1	1	安全で快適に通行できる道路・空間の整備					
	1	1	中野駅新北口駅前広場は、土地の立体的活用により、バス・タクシー乗降場や憩いの広場を整備し、自動車交通処理や回遊性の向上に向けた歩行者動線の確保により、新しい中野の顔となる都市型複合交通ターミナルの整備を進めます。	A:実施した	中野駅新北口駅前広場について、土地の立体的活用により、バス・タクシー乗降場や憩いの広場を整備し、自動車交通処理や回遊性の向上に向けた歩行者動線を確保するため実施設計を進めた。	まちづくり推進部	中野駅周辺まちづくり課	16
	1	1	中野駅南口駅前広場は、高低差のある地形に対応したユニバーサルデザインに配慮した歩行者動線を整備するとともに、バスやタクシーの錯綜解消や交通空間・歩行者空間の拡充により安全な交通結節機能の整備を図ります。	A:実施した	中野駅南口駅前広場について、バスやタクシーの錯綜解消や交通空間・歩行者空間の拡充を目的とした、駅前広場拡張工事に着手した。	まちづくり推進部	中野駅周辺まちづくり課	16
	1	1	中野駅桃園広場(西口広場)は、中野駅西側南北通路の整備にあわせて、ユニバーサルデザインに配慮した歩行者動線の整備を進めます。	A:実施した	中野駅桃園広場(西口広場)について、中野駅西側南北通路の整備にあわせて、ユニバーサルデザインに配慮した歩行者動線の整備を行うため、デッキ工事等を推進した。	まちづくり推進部	中野駅周辺まちづくり課	16
	1	1	西武新宿線沿線まちづくり、東中野駅・中野坂上駅周辺地区まちづくり、防災まちづくり等、各事業の進捗にあわせ、ユニバーサルデザインに配慮した道路・空間の整備を進めます。	A:実施した	東中野駅周辺において、まちづくり基本方針の策定に向けた検討を進めた。	まちづくり推進部	まちづくり計画課	16
				A:実施した	西武新宿線沿線まちづくりや、各地区の防災まちづくりの進捗にあわせ、整備にむけて必要となる道路用地を取得した。	まちづくり推進部	まちづくり事業課	
	1	1	道路のバリアフリー化を目指し、中野区バリアフリー基本構想に基づき、区道43・250(鷺宮二丁目南北)、区道45・290(上蔵公園前)等、順次、歩車道の段差解消や歩道の勾配緩和等のバリアフリー工事を進めます。	A:実施した	・区道43・250バリアフリー化改良工事完了 ・区道45・290 道路詳細設計及び測量業務完了	都市基盤部	道路建設課	16
	1	1	中野区無電柱化推進計画に基づき、無電柱化を進めます。	A:実施した	・弥生町三丁目避難道路1号 電線共同溝本体工事、引連設計(電力)、引連設計工事(通信)、道路詳細設計 ・弥生町三丁目避難道路2号 引連工事(電力) ・弥生町三丁目避難道路7号 電線共同溝整備に伴う支障物件移設	都市基盤部	道路建設課	16
	1	1	多様な世代や属性に向けた自転車利用のルールの周知やマナー向上の啓発をするとともに、各駅周辺を中心に、放置自転車の指導・警告、撤去を実施します。	A:実施した	【自転車安全利用講習会】 自転車利用のルール、マナー向上を図ることを目的に「自転車安全利用講習会」を8回実施した。参加者134人。	総務部	防災危機管理課	16
				A:実施した	放置自転車の指導・警告・撤去を平日毎日、土日祝日も月2回程度行った。	都市基盤部	交通政策課	
	1	1	違反屋外広告物や商店の商品のみだし等、不法占用に対して、商店街や地域、警察署等の関係機関と連携し、指導・取締を推進します。	A:実施した	・違反屋外広告物撤去回数 24回 ・違反屋外広告物撤去枚数 5,375枚	都市基盤部	道路管理課	16
	1	2	安全で快適に利用できる公園の整備					
	1	2	中野区公園再整備計画に基づき、ユニバーサルデザインに配慮した園路やトイレの改修、遊具の更新等、公園の再整備を進め、利便性・快適性や魅力を高めます。また、公園が快適で安全に利用できるようルールづくりを進めます。	A:実施した	・地域福祉推進包括補助事業に基づく補助金を活用し、公園トイレ及び園路等を含むバリアフリー化の設計(あじさい公園、みどり公園)と工事(れんげ公園、すみれ公園)を行った。 ・「ゴムボール遊び」、「自転車等に乗るための練習」等の利用者や周辺住民への迷惑とならないことを前提としたルールの緩和を継続して実施した。	都市基盤部	公園課	17
	1	2	新しい公園の整備では、ユニバーサルデザインに配慮します。	A:実施した	・新設公園の設計(上高田五丁目公園)を行った。	都市基盤部	公園課	17
	2	円滑に移動できる交通環境づくり						
	2	1	わかりやすい案内表示の充実					
	2	1	公共サインの整備にあたって、基本的な考え方を定めた公共サインガイドラインに沿って、ビクトグラムや多言語化等を進めます。	A:実施した	施設の新規開設や位置の変更などに伴い、サインの表示を修正・変更した。	企画部	広聴・広報課	18
	2	2	円滑に移動できる交通サービスの検討・実施					
	2	2	区内を円滑に移動できる公共交通サービスに関する検討を進めます。	A:実施した	2023年9月より運行ルートを改善して実施した実証運行の検証及び評価を行い、2024年度実証運行を実施した。	都市基盤部	交通政策課	18
	2	2	区内における移動の利便性向上のため、シェアサイクルの普及を促進します。	A:実施した	令和5年度に新たに協定を締結した事業者を含め、3社の利用を選べる共同ポートを開設した。	都市基盤部	交通政策課	

基本 理念	施策 の方 向	主な取組	2024年度の実績		所管		計画書 ページ
			進捗状況	取組状況	部	課	
	2	3 利用しやすい駐車場・自転車駐車場の整備					
	2	3 「障害者等駐車区画の適正利用に向けたガイドライン」(東京都)に基づく駐車場の整備を促進します。	A:実施した	窓口にガイドラインに基づくリーフレットを置くなど周知を行った。	都市基盤部	交通政策課	18
			A:実施した	各地区のまちづくりにあわせて、ガイドラインに基づく駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	まちづくり推進部	中野駅周辺まちづくり課	
	2	3 自転車の多様化に合わせた自転車駐車場の整備を進めます。	A:実施した	自転車駐車場の新設・増設の際、障害者や特殊車両等の利用者のため、平置きスペースの確保に務めた。	都市基盤部	交通政策課	18
			A:実施した	各地区のまちづくりにあわせ、駐輪形式や利用者動線など、利便性に配慮した自転車駐車場の整備に向け、計画検討を進めた。	まちづくり推進部	中野駅周辺まちづくり課	
	3	3 利用しやすい配慮された区有施設づくり					
	3	1 区有施設の現状把握及びガイドラインの検討					
	3	1 区有施設のユニバーサルデザインやバリアフリー設備等の現状を把握し、今後の区有施設整備・改修における基本的な考え方を整理したガイドラインの検討を行います。	B:実施できなかったが、次年度に実施予定	区有施設のユニバーサルデザインやバリアフリー設備等の現状把握は未実施。ガイドラインを策定し、2025年度以降の整備・改修に向けた検討の土台を整えた。	企画部	企画課	19
	3	1 最新のユニバーサルデザインを研究し、有識者等の意見を聞きながら、施設整備等への反映を具体的に検討します。	A:実施した	ユニバーサルデザイン評価会議を4回試行実施。 ・錦江区民活動センター基本計画 ・中野東図書館の視察 ・ガイドラインの検討 ・錦江区民活動センター実施設計 各段階において有識者等の意見を踏まえ、施設整備へのユニバーサルデザインの具体的な反映を検討した。	企画部	企画課	19
	3	2 利用しやすい区有施設の整備・改修					
	3	2 区有施設の整備・改修は、「都立建築物のユニバーサルデザイン導入ガイドライン」(東京都)等を踏まえ、区が定める計画に沿って進めます。また、有識者等による評価・点検のしくみを構築し、スパイラルアップにつなげていきます。	A:実施した	東京都のガイドライン等を参考にしつつ、区独自の基準やソフト面の工夫等を示す「区有施設のユニバーサルデザイン導入ガイドライン」を策定するとともに、有識者で構成する「ユニバーサルデザイン評価・アドバイザー会議」を設置した。	企画部	企画課	19
			C:検討中(実施時期未定)	(子ども教育部 育成活動推進) 2025年度から実施する若宮児童館整備基本計画・基本設計・実施設計に向けて、「中野区区有施設のユニバーサルデザイン導入ガイドライン」を踏まえたユニバーサルデザインの導入の検討を行った。	各部	各課	
	3	2 新たに移転する中野区役所本庁舎では、多機能トイレの充実、出入口やトイレの音声誘導装置の設置、大きな文字や多言語・ピクトグラムによるサイン表示等、ユニバーサルデザインに配慮した庁舎とします。	A:実施した	多機能トイレの充実、出入口やトイレの音声誘導装置の設置、大きな文字や多言語・ピクトグラムによるサイン表示等、ユニバーサルデザインに配慮した新庁舎が完成し、2024年5月に移転した。	総務部	総務課	19
	3	2 備品等の調達においては、ユニバーサルデザインの視点で配慮された商品の活用を進めます。	A:実施した	(総務部 総務課) ユニバーサルデザインの視点で配慮された商品を活用したが、より合理的配慮が必要場合には、対応について申し出を行うルールを策定し、運用している。	各部	各課	19
	4	4 利用しやすい配慮された民間施設・住宅づくり					
	4	1 利用しやすい民間施設の誘導・整備の支援					
	4	1 中野区バリアフリー基本構想の「重点整備地区における施設別のバリアフリー化の方針」に基づき障害者や高齢者をはじめ、すべての人が使いやすいよう配慮された施設を誘導します。	A:実施した	中野区バリアフリー基本構想の「特定事業」について、進捗状況調査を行い、その結果を中野区のHPIにて公表した。また、バリアフリー基本構想の改定に向け、協議会を立上げ、検討を進めた。	都市基盤部	都市計画課	20
			C:検討中(実施時期未定)	西武新宿線(中井駅～野方駅間)連続立体交差事業について、今後も都(事業主体)・西武鉄道と連携し、事業を早期に実現できるよう取り組んでいく。	まちづくり推進部	まちづくり事業課	
			A:実施した	中野駅のバリアフリー化に向け、西側南北通路・橋上駅舎の整備を進めた。	まちづくり推進部	中野駅周辺まちづくり課	
	4	1 中野区福祉のまちづくりのための環境整備要綱に基づき、小規模施設の整備・改善を誘導します。	一:評価不能(隔年実施、事業終了など)	「東京都福祉のまちづくり条例施行規則」の改正がなかったため、「中野区福祉のまちづくりのための環境整備要綱」の改正はなかった。	健康福祉部	福祉推進課	20
			A:実施した	東京都福祉のまちづくり条例の施設整備基準に適合するよう、区内の新築・改修工事の審査を54件行った。	都市基盤部	建築課	
	4	1 ユニバーサルデザインに配慮したトイレ設置、障害者・高齢者用サイン表示、授乳・おむつ替え等スペースの設置等の事業について、商店街に周知・情報提供を行い、事業を誘導します。	A:実施した	事業実施主体である区内全商店街に補助制度の案内を行った。	区民部	産業振興課	20

基本理念	施策の方向	主な取組		2024年度の実績		所管		計画書ページ
				進捗状況	取組状況	部	課	
	4	1	公衆浴場の改修(バリアフリー化等)に必要な経費の一部を補助します。	A:実施した	公衆浴場設備改善資金助成金を16浴場に助成し、区民の誰もが利用しやすい公衆浴場の安全な利用機会の確保と公衆衛生向上及び健康増進に寄与した。	健康福祉部	福祉推進課	20
	4	2	快適に暮らせる住宅の誘導・整備の支援					
	4	2	民間住宅においては、ユニバーサルデザイン及びバリアフリー化の普及を促進します。	A:実施した	・毎週金曜日の「すまいるリフォーム相談」において、バリアフリー化等の相談に対し、アドバイスや情報提供を行った。 ・区民等からの問合せに対し、各種支援や助成制度等に関する情報提供を行った。	都市基盤部	住宅課	20
	4	2	高齢者や障害者が快適に住み続けられるよう住宅改修にかかる費用の一部給付します。	A:実施した	2024年度実績 ・介護給付による住宅改修費 621件 ・自立支援住宅改修等給付 4件	地域支えあい推進部	介護保険課	20
				A:実施した	重度障害者の日常生活の安全と便利を図るため、居住する住宅の浴室等の改善や家屋内での移動を容易とする移動設備の設置を行う。今年度は、洗面所を車いす対応にする改修、天井走行リフトの設置、階段昇降機の設置など、屋内での移動や生活動作の負担軽減を目的とした住宅改善を実施した。	健康福祉部	障害福祉課	
	4	2	高齢者、子育て世帯、障害者等の住宅確保要配慮者の入居を拒まないセーフティネット住宅等の普及を促進します。	A:実施した	・セーフティネット住宅に対する改修費補助を行い、セーフティネット住宅の登録を促進した。 ・居住支援協議会の運営を支援し、連携して、住宅確保要配慮者及び民間賃貸住宅オーナー等に対し、セーフティネット住宅の普及啓発を行った。	都市基盤部	住宅課	20
ソフト	5	利用しやすいわかりやすい区のサービスづくり						
	5	1	円滑に利用できるサービスの充実					
	5	1	区が提供する各種サービス・事業では、手話通訳やタブレット端末による多言語通訳・翻訳の活用を進めます。また、案内や申込み手続、サービスの提供方法については、点検・見直し・改善を進めます。	A:実施した	ユニバーサルデザインの観点から、窓口対応時の注意点を全庁に周知し、見直し・改善を促した。また、職員向けに「ユニバーサルマナー研修」を実施し、ユニバーサルデザインへの理解を深めるとともに、窓口対応時の具体的な配慮方法について学び機会を提供した。	企画部	企画課	24
				A:実施した	・AI多言語通訳システムが搭載された通訳タブレットを区有施設に配備・運用した。 台数:59台 利用回数:機械通訳2883件、三者間通訳376件	区民部	文化振興・多文化共生推進課	
				A:実施した	区が実施する区民等が参加する事業について、区民等から要望があれば手話通訳者を配置するよう、全庁的に通知を行った。さらに、募集定員が200名を超える事業等については、区民等からの要望がなくても手話通訳者を配置するよう併せて通知した。	健康福祉部	障害福祉課	
				—	—	各部	各課	
	5	1	新たに移転する中野区役所本庁舎ではすべての来庁者が迷わないよう、総合案内の他、各フロアに案内人を配置して目的の窓口へ適切に案内します。また外国人向け相談窓口を設置し、わかりやすい窓口サービスを展開します。	A:実施した	庁舎移転後、総合案内の他、各フロアに案内人を配置し、来庁者の目的に合った案内を行った。また、英語・中国語に対応できる相談員を配置し、外国人住民から相談を受け、区役所内外の関係機関を案内した。	区民部	区民サービス課	24
	5	1	見やすい申請書や電子申請手続の拡大等により利用しやすい行政サービスの整備を進めます。	A:実施した	申請書の性別記載項目の点検を行い、誰もが使いやすい様式の検討を進めた。	企画部	企画課	24
				A:実施した	新たに戸籍届出の受理証明書交付申請や、各種証明書の郵送請求にかかる手数料のキャッシュレス決済の受付を開始した。	総務部	デジタル政策課	
				—	—	各部	各課	
	5	1	区有施設で区民が利用する机・椅子等の備品、文房具等について、ユニバーサルデザインの視点で配慮された商品の活用を進めます。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ユニバーサルデザインやユニバーサルデザインの視点で配慮された商品について広く理解を得るため、明治大学中野キャンパスでの催事内及び中野駅ガード下ギャラリーでパネルとユニバーサルデザイン製品展示による普及啓発を行った。 【区有施設のユニバーサルデザイン製品の設置】 区内児童館にユニバーサルデザイン製品を設置した。区民がユニバーサルデザイン製品を実際に使用する機会を創出し、普及啓発を行った。	企画部	企画課	24
				—	—	各部	各課	

基本 理念	施策 の方 向	主な取組	2024年度の実績		所管		計画書 ページ
			進捗状況	取組状況	部	課	
	5	1	A:実施した	(区民部 区民サービス課 消費生活センター) 行かない窓口としてオンライン上でも相談ができるようにした。	各部	各課	24
			A:実施した	(地域支えあい推進部 地域包括ケア推進課) 各すこやか福祉センターでの取り組み ・妊婦を対象とした「かんがるー面接」は妊婦の体調不良や、熱中症警戒アラートなど対応するためにオンラインでの相談も実施した。 ・精神障害者の入院先と本人含むケース会議を実施した。	各部	各課	24
	5	2	災害・緊急時の迅速な情報提供と要配慮者への支援				
	5	2	A:実施した	ハザードマップの多言語化や『中野区防災地図(中野の防災)』のやさしい日本語版の作成に加え、国際交流協会との連携による外国人防災リーダーの養成などを通じて、外国人への防災情報の提供を行った。	総務部	防災危機管理課	24
	5	2	A:実施した	【災害時個別避難計画書実績】 令和6年度末 調査対象者 36,904人 調査終了者 34,454人 計画書作成者16,605人	地域支えあい推進部	地域活動推進課	24
			A:実施した	避難所運営マニュアルに要配慮者の特性を踏まえた対応を記載した。	総務部	防災危機管理課	
	5	2	A:実施した	総合防災訓練において「避難行動要支援者名簿」の活用を想定した安否確認訓練や要配慮者を想定した模擬避難訓練を実施した。	総務部	防災危機管理課	24
	6	参加しやすい地域の場づくり					
	6	1	参加しやすい環境整備				
	6	1	B:実施できなかったが、次年度に実施予定	東京都の事業に申し込んで現地調査を行った。	総務部	デジタル政策課	25
			A:実施した	区民活動センターの利用者用のFree Wi-Fi整備にむけて、検討を行った。また、オンラインによる施設予約システムの再構築に向けて、予約ルールの見直し等の検討を行った。	地域支えあい推進部	地域活動推進課	
	6	1	A:実施した	(地域支えあい推進部 地域包括ケア推進課) 【オンラインなかの元気アップ体操ひろば】 テレビ会議システム「Zoom」を用いて、区歌に合わせたなかの元気アップ体操を含む30分の運動を週3回実施している。令和6年度は延1783人が参加している。	各部	各課	25
			A:実施した	(企画部 企画課) 【ユニバーサルデザインサポーター養成講座】 ・ユニバーサルマナー検定3級及び区のユニバーサルデザインの取組についての区民向け講座をオンラインで実施した。 ・59名のサポーターを養成。	各部	各課	
	6	1	A:実施した	障害者の社会的活動を促進するため、区に登録された手話通訳者を派遣した。さらに、社会福祉法人東京聴覚障害者福祉事業協会に委託し、手話通訳者派遣を実施した。要約筆記者については、社会福祉法人東京聴覚障害者福祉事業協会に委託し、適切に派遣を行った。	健康福祉部	障害福祉課	25
	6	2	スポーツ・健康づくりを楽しめる環境整備				
	6	2	A:実施した	各スポーツ施設等において、多様で幅広い世代の区民が、スポーツや健康づくりを楽しめる教室事業やイベント等を実施した。	健康福祉部	スポーツ振興課	25
	6	2	A:実施した	【なかの元気アップ体操ひろば】 週1回30分の前後半入替制、民間施設7か所のほか、オンラインでも実施。延8,019人が参加。場所や障害の有無にとらわれない65歳以上の高齢者が参加している。 【住民主体サービス実施団体】 ・通所型-22団体 ・その他の生活支援サービス-1団体	地域支えあい推進部	地域包括ケア推進課	25

基本 理念	施策 の方 向	主な取組		2024年度の取組実績		所管		計画書 ページ
				進捗状況	取組状況	部	課	
	6	3	学びを楽しめる環境整備					
	6	3	なかのZERO、区民活動センター、高齢者会館、児童館、歴史民俗資料館等において、誰もが参加しやすい地域の場づくりを進めます。	A:実施した	・「アトリエpangaea展覧会・ワークショップ(社会福祉法人愛成会と指定管理者の共催事業)」を実施した。 ・ユニバーサルデザインマップ作成講座(なかの生涯学習サポーターの会と指定管理者の共催事業)を実施した。 ・ユニバーサルデザインによるミュージカルオペラ(指定管理者の主催事業)を実施した。 ・区役所1階ナカノバでインクルーシブ音楽ワークショップを実施した。	区民部	文化振興・多文化共生推進課	25
				A:実施した	乳幼児親子から18歳までの全ての子どもが利用できる地域の身近な居場所・遊び場・交流の場として、児童館運営を行った。	子ども教育部	育成活動推進課	
				A:実施した	・区民活動センターにおいて、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・高齢者会館において、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。 ・区民活動センターの一時保育室等の授乳スペースに、授乳室であることを視覚的に伝えるピクトサインを設置し、利便性の向上を図った。	地域支えあい推進部	地域活動推進課	
				A:実施した	・高齢者会館において、各種事業を実施し、仲間とともに学び、交流する機会を提供した。	地域支えあい推進部	地域包括ケア推進課	
	6	3	子どもから高齢者までが利用しやすい図書館整備を進めます。また、録音図書や在宅配送サービス等、図書館における障害者・高齢者向けサービスを充実します。	A:実施した	・江古田図書館において、児童コーナーの改修と閲覧席の整備を行った。 ・各館において、乳幼児から高齢者まで、各年代にあわせたイベント等を実施した。 ・録音図書・点字資料・布絵本の貸出サービス、在宅配送サービス、対面朗読サービス、ファクシミリサービスを提供した。また、システム更新により、オンラインでの対面朗読サービスも可能となった。 ・モニター型・ルーペ型拡大読書器、音声拡大読書器を一部施設で設置している。	教育委員会事務局	子ども・教育政策課(教)	25
	7 地域における利用しやすいサービス・商品づくり							
	7 1 便利で魅力ある商店街の整備							
	7	1	多言語に対応したホームページやマップの作成等、商店街・地域連携による多文化対応事業を支援します。	A:実施した	事業実施主体である区内全商店街に補助制度の案内を行った。	区民部	産業振興課	26
	7	1	商店街における決済のキャッシュレス化や、取引のデジタル化等に向けて支援します。	A:実施した	区で11月にプラットフォームを構築し、商店街を含む区内店舗にデジタル地域通貨(ナカベイ)を導入した。	区民部	産業振興課	26
	7 2 ユニバーサルデザインに資する事業創出の支援							
	7	2	区内で起業を目指す方や新たな事業展開を考えている事業者に対するセミナーや相談等、創業支援の取組の一環として、利用しやすいサービス・商品を生み出す事業が創出されるよう支援します。	A:実施した	ユニバーサルデザイン関連経営支援セミナーを実施した。	区民部	産業振興課	26
	7 3 事業活動における意識向上機会の促進							
	7	3	事業者向けに障害者等への対応に関する説明会(セミナー)を実施します。	B:実施できなかったが、次年度に実施予定	2025年度の対象者検討のため、調整を行った。	区民部	産業振興課	26
	7	3	事業活動においてユニバーサルデザインを取り入れてもらうためのインセンティブについて、検討します。	C:検討中(実施時期未定)	事業活動におけるユニバーサルデザイン導入を促進するためのインセンティブについて、具体的な検討は実施していない。	企画部	企画課	26
	8 わかりやすい情報を簡単に得られる環境づくり							
	8 1 ICTを活用した区政情報等の発信							
	8	1	区ホームページやSNSの活用等、多様な方法で効果的な情報発信を進めます。	A:実施した	区ホームページや各種SNS、ディスプレイや掲示板など様々な情報発信媒体を活用し、効果的な情報発信を行った。	企画部	広聴・広報課	27
				—	—	各部	各課	

基本 理念	施策 の方 向	主な取組		2024年度の取組実績		所管		計画書 ページ	
				進捗状況	取組状況	部	課		
	8	1	地域のユニバーサルデザイン情報や区が保有している行政データ等を、二次利用可能なオープンデータとして公開し、データ検索等が容易になるシステム環境を整備します。	A:実施した	公開型GIS「なかのデータマップ」にて、子育て・教育に関する情報(学校・図書館、保育園・幼稚園、子育て関連施設、小中学校)を公開するとともに、オープンデータとしての活用を可能としている。 また、中野区公式LINEに情報を掲載し、位置情報検索から最寄りの授乳やおむつ替えができる施設を検索できる機能に加え、2024年度には現在地情報から最寄りの保育施設を検索できる機能を導入した。	子ども教育部	子ども・教育政策課(教)	27	
				A:実施した	区有施設等のバリアフリー設備情報の検索が可能なバリアフリーマップは、2009年度に広報分野が公開し、その後、福祉推進課に事務移管され、2023年度に設備項目の見直しを行った。 2024年度は、設備情報の更新を行うため、設備設置状況調査を実施した。	健康福祉部	福祉推進課		
				—	—	各部	各課		
	8	2	デジタルデバイドの解消に向けた支援						
	8	2	パソコン教室やスマートフォン教室等を開催し、区民のデジタルデバイス利用に向けた支援を行います。	A:実施した	区内団体による教室の開催について、支援を行った。また、都と共催でスマートフォン体験会・相談会を実施した。	総務部	デジタル政策課	27	
	8	2	町会・自治会等、公益活動団体のICTスキル向上のため、SNS等での情報発信のための費用を助成します。	A:実施した	町会・自治会公益活動推進助成(加入促進及び地域交流促進)により、費用を助成した。	地域支えあい推進部	地域活動推進課	27	
	8	3	ユニバーサルデザインに配慮した広報物等の作成						
	8	3	中野区情報発信のユニバーサルデザインガイドラインに基づく広報物等の作成を一層進めるとともに、既存広報物等の点検・見直し・改善を進めます。	A:実施した	区の広報物が、中野区情報発信のユニバーサルデザインガイドラインに基づくものとなるよう、広報クリニックの利用を促進し、各課が作成する広報物の点検・見直し・改善を行った。	企画部	広報・広報課	27	
				—	—	各部	各課		
	8	3	やさしい日本語のガイドラインを策定し、ガイドラインに基づくやさしい日本語による広報及び普及啓発を進めます。	C:検討中(実施時期未定)	・やさしい日本語の必要性、表現、話し方、書き方をまとめたホームページを作成し、区民及び職員に周知した。 ・広報誌作成等においてやさしい日本語の活用を促すため、多文化共生研修及びやさしい日本語研修を実施した。 ・大学と連携し、やさしい日本語で日本人と外国人が交流するイベントを実施した。	区民部	文化振興・多文化共生推進課	27	
				—	—	各部	各課		
	8	4	情報を得にくい人への支援						
	8	4	最新技術を活用する等、障害者等が必要な情報を容易に得られるよう、情報のバリアフリーを進めます。	A:実施した	区内在住の聴覚障害者が健聴者と同様に等しく情報を取得できるよう、「なかの区報」やその他聴覚障害者に必要と思われる情報を簡潔にまとめた内容をメールまたはファックスで配信した。	健康福祉部	障害福祉課	27	
				—	—	各部	各課		
ハート	9	違いを超えて尊重しあう心を育む教育環境づくり							
	9	1	学校等におけるユニバーサルデザインの推進						
	9	1	人権教育や道徳教育によって、違いを超えて誰もが尊重される社会を実現することができる資質・能力を育みます。	A:実施した	・道徳教育推進教師研修を年2回実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・中野区人権教育推進委員会による授業実践及び人権教育推進資料の作成・配布 ・初任者研修、2年次研修において特別の教科 道徳の授業力向上に向けた研修の実施	教育委員会事務局	指導室	30	
	9	1	外国語による活動や学習を充実させ、言語や他国の文化を理解し、尊重する意識を育てるとともに、お互いの考えを伝え合うことができるコミュニケーション能力を育てます。	A:実施した	・英語教育研修(小・中合同)、英語教育アドバイザー研修(派遣型・集合型)を実施 ・TOKYO GLOBAL GATEWAYへの参加補助事業を全小中学校4年生に実施 ・中学校第1学年の宿泊による英語体験活動の実施 ・日本英語検定受験料補助事業を第1・2回は3年生、第3回は2年生を対象に実施	教育委員会事務局	指導室	30	
	9	1	不登校、日本語への適応が困難、LGBT等、配慮を要する児童・生徒に対して、一人一人に応じたきめ細かな支援を進めます。	A:実施した	・教育相談室における相談受付 ・教育支援室による不登校児童・生徒の支援 ・不登校児童・生徒一人一人の実態把握ときめ細かな支援法の検討 ・教育相談研修を年2回実施 ・日本語指導員等派遣事業の実施 ・教育支援室による日本語指導教室の実施 ・人権教育研修を年2回実施 ・区委員による人権教育推進委員会を年4回実施及び人権教育推進資料を作成	教育委員会事務局	指導室	30	

基本 理念	施策 の方 向	主な取組		2024年度の実績		所管		計画書 ページ
				進捗状況	取組状況	部	課	
	9	1	保護者を対象に特別支援教育への理解促進を図ります。	A:実施した	・全校のホームページの特別支援教育の取組についての紹介ページの充実 ・学校生活支援シートの活用の充実 ・義務教育終了後の支援への接続のあり方を確立	教育委員会事務局	指導室	30
				A:実施した	就学相談のリーフレットの見直しを行い、案内リーフレットを作成した。保護者等に配布して特別支援教育の理解促進に努めている。	教育委員会事務局	学務課	
	9	2	指導方法の充実によるわかりやすい授業の実施					
	9	2	授業の改善、教員への研修、校内研究の結果を全区的に活かす取組を進めながら、すべての子どもたちが「わかる」「できる」「ともに学び合う」ためにユニバーサルデザインの考えを取り込んだ授業を行います。また、デジタル福祉教材「あおぞら」を活用し、共生社会の実現に必要な資質・能力を育む学習を進めます。	A:実施した	・特別支援教室の巡回指導教員と学級担任の連携によって授業におけるユニバーサルデザインを充実することで、全ての子どもにとってわかる授業の実現を図る。 ・児童・生徒の実態に応じた効果的なコンテンツの整備・運用	教育委員会事務局	指導室	30
	9	2	性的少数者等に対する正しい理解と認識を深めるために、教職員に向けた研修等を実施します。	A:実施した	・人権教育プログラムを活用した教職員研修の実施	教育委員会事務局	指導室	30
	10	ユニバーサルデザイン推進の担い手づくり						
	10	1	区職員の理解促進					
	10	1	ユニバーサルデザインの理解を深め、具体的な対応方法等を学ぶ研修のほか、多様性の理解と認識を深める研修等を実施します。	A:実施した	【ユニバーサルマナー研修】 ユニバーサルデザインの理解を深め、窓口業務での対応方法などを学ぶ研修を行った。	企画部	企画課	31
				A:実施した	・職員向けに多文化共生研修及びやさしい日本語研修を実施した。	区民部	文化振興・多文化共生推進課	
				A:実施した	犯罪をした人などへの理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、社会を明るくする運動による現状や関連事業の周知と支援者研修・区職員研修を行った。	地域支えあい推進部	地域活動推進課	
				A:実施した	11月に、管理職昇任者等(管理職昇任1年目職員又は管理職候補者)及び採用2年目職員対象の職層研修として「障害平等研修」を実施し、130名が受講した。	健康福祉部	障害福祉課	
				A:実施した	区職員(健康福祉部職員)や関係機関職員を対象としてゲートキーパー養成研修を実施した。	健康福祉部	保健予防課	
	10	2	ユニバーサルデザイン推進を担う地域人材の養成					
	10	2	ユニバーサルデザインや障害の社会モデル、心の不調等に関する知識等を身につけ、地域にユニバーサルデザインの考え方を広げ、実践する区民の担い手を養成します。	A:実施した	【ユニバーサルデザインサポーター養成講座】 ・ユニバーサルマナー検定3級及び区のユニバーサルデザインの取組みについての区民向け講座をオンラインで実施した。 ・59名のサポーターを養成。	企画部	企画課	31
				A:実施した	【認知症サポーター養成講座】 ・開催回数:51回 ・受講者数:983人(累計24,321人)	地域支えあい推進部	地域包括ケア推進課	
				A:実施した	差別や合理的配慮について考える機会を創出するため、区民及び民間事業者に向けた理解啓発事業である「障害平等研修」を実施し、10名が参加した。	健康福祉部	障害福祉課	
				A:実施した	2025年2月に「心のサポーター養成講座」として実施。心の不調に対するメンタルヘルスファーストエイドの考え方に基づきこころの不調や精神疾患に対する知識普及啓発を行い40名参加した。	健康福祉部	保健予防課	
	10	2	手話通訳者や代筆・代読支援者等、多様な意思疎通支援者を養成します。	A:実施した	手話を学習し、手話通訳者として活動ができる人材を養成するため、手話講習会を実施した。 さらに、視覚障害者への支援に対する知識及び代筆・代読の技術を持った支援者を養成するため、代筆・代読支援者養成研修を実施した。	健康福祉部	障害福祉課	31

基本 理念	施策 の方 向	主な取組	2024年度の取組実績		所管		計画書 ページ	
			進捗状況	取組状況	部	課		
	11	ユニバーサルデザインの考え方を広げるしくみづくり						
	11	1	区民・事業者に対する普及啓発					
	11	1	ユニバーサルデザインを広く区民や事業者に知ってもらうための事業を実施します。	A:実施した	【ユニバーサルデザインパネル展】 ・ユニバーサルデザインやユニバーサルデザインの視点で配慮された商品について広く理解を得るため、明治大学中野キャンパスでの催事内で普及啓発を行った。 ・ユニバーサルデザイン製品を展示した。 【区有施設のユニバーサルデザイン製品の設置】 区内児童館にユニバーサルデザイン製品を設置した。区民がユニバーサルデザイン製品を実際に使用する機会を創出し、普及啓発を行った。 【性的マイノリティ区民講座】 ・性的マイノリティ当事者の講師による講座及び性的マイノリティ啓発の映画上映を実施した。	企画部	企画課	32
				A:実施した	ユニバーサルデザイン関連経営支援セミナーを実施した。	区民部	産業振興課	
				A:実施した	犯罪をした人などへの理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、社会を明るくする運動により、関係機関と連携しながら、推進事業を実施し、生きづらさを抱えた人への支援の現状や必要性を周知した。	地域支えあい推進部	地域活動推進課	
				A:実施した	12月に、区民及び民間事業者に向けた理解啓発事業として「障害平等研修」を実施し、10名が参加した。	健康福祉部	障害福祉課	
				A:実施した	2024年9月に「身近な人SOSその時あなたは」というテーマで自殺対策講演会を実施し16名参加した。9月と3月に自殺対策月間としてポスター掲示や公共機関での展示を実施した。	健康福祉部	保健予防課	
	11	1	区ホームページやSNS、区掲示板等を活用した普及啓発を充実します。	A:実施した	区ホームページで、ユニバーサルデザイン推進計画(第2次)の情報発信や関連資料の公開を通して普及啓発を行った。	企画部	企画課	32
	11	2	区民団体等による普及啓発の取組の支援					
	11	2	区民公益活動に関する政策助成において、「ユニバーサルデザインへの配慮」を組み入れた活動を行う区民団体等を支援します。	A:実施した	政策助成の審査基準に、引き続き、「ユニバーサルデザインへの配慮」の項目を設け、各区民団体が、事業計画段階でユニバーサルデザインに配慮した事業を計画するよう促している。	地域支えあい推進部	地域活動推進課	32
	12	個性や多様性を大切にする意識づくり						
	12	1	人権擁護・男女共同参画推進のための普及啓発					
	12	1	人権や男女共同参画に関するパネル展やイベントを実施するほか、男女共同参画センター情報誌「アンサンプル」等による普及啓発を行います。	A:実施した	【人権週間関連行事】 ・中野駅北口にて街頭啓発を実施した。 ・人権パネル展を中野駅ガード下ギャラリー及び中野区役所1階で実施した。 【男女共同参画週間事業】 ・男女共同参画週間講演会の実施 ・男女共同参画週間パネル展の実施 ・男女共同参画センター情報誌「アンサンプル」47号の発行。区民の方から企画編集委員を公募し、協同して作成	企画部	企画課	33
				A:実施した	犯罪をした人などへの理解を深め、再犯防止の取組を進めるため、社会を明るくする運動により、関係機関と連携しながら、推進事業を実施し、生きづらさを抱えた人への支援の現状や必要性を周知した。	地域支えあい推進部	地域活動推進課	33
	12	2	多文化共生推進のための普及啓発					
	12	2	中野区多文化共生推進方針に基づいて、多文化共生の理解促進を行います。	A:実施した	・国際交流協会が行う市民交流事業等、多文化共生の理解につながる取組について、支援を実施した。 ・大学や自治会と連携し、日本人と外国人との交流事業を実施した。	区民部	文化振興・多文化共生推進課	33
				—	—	各部	各課	
	12	2	中野区国際交流協会の取組を支援しながら、やさしい日本語の出前講座や国際理解講座等による普及啓発を行います。	A:実施した	・国際交流協会が行うやさしい日本語講座や市民交流事業について、支援を実施した。	区民部	文化振興・多文化共生推進課	33
12	2	姉妹都市や友好関係にある海外自治体との交流を通じて相互理解を深めるとともに、交流自治体を広げていきます。	A:実施した	・区職員がニュージーランドのウェリントン市を訪問し、中野・ウェリントン友好子ども交流事業を視察するとともに、ウェリントン市長をはじめとする関係者と会談し、今後の交流に向けて意見交換等を行った。	区民部	文化振興・多文化共生推進課	33	

基本 理念	施策 の方 向	主な取組	2024年度の取組実績		所管		計画書 ページ	
			進捗状況	取組状況	部	課		
	12	3 障害者に対する理解推進のための普及啓発						
	12	3	区民向けの啓発事業を実施するほか、障害者施設等が実施するまつり等交流事業を支援します。	A:実施した	【区民・事業者向け「障害平等研修」】 12月に、区民及び民間事業者に向けた理解啓発事業として「障害平等研修」を実施し、10名が参加した。 【障害のある人ない人との交流事業】 試行として、中野区聴覚障害者福祉協会と共催(会場提供、周知協力)で手話交流イベントを実施した。 【障害者施設等におけるまつり】 障害者福祉会館や弥生福祉作業所等区立施設においてまつりを実施し、近隣住民との交流を図った。	健康福祉部	障害福祉課	33
	12	3	障害者が障害の種類や特性に応じた支援を得られるようヘルプカードとヘルプマークの配布・普及啓発を行います。	A:実施した	必要な方の手に届くよう、障害福祉課や各すこやか福祉センター窓口等にヘルプカード及びヘルプマークを設置し、区民に配布した。また、ポスター・掲示やのぼり旗の設置により、ヘルプカード及びヘルプマークについて広く周知を図った。	健康福祉部	障害福祉課	33
	12	4 性的少数者に対する理解促進のための取組						
	12	4	パートナーシップ宣誓の周知や、LGBT等性的少数者の社会生活における悩み等を理解するための取組を進めます。	A:実施した	【パートナーシップ宣誓制度の運営】 ・パートナーシップ宣誓書受領証22件、公正証書等受領証0件を交付した。 ・宣誓者のメリット向上の為、宣誓者が利用できる行政サービスの拡充を行った。 ・電子申請を導入した。	企画部	企画課	33
				—	—	各部	各課	